

# 西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会

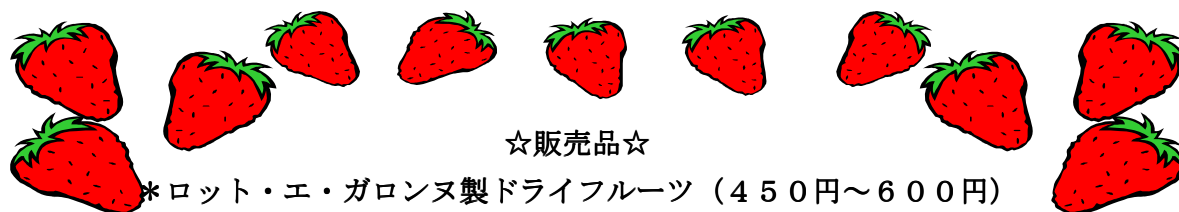


2009年2月10日発行 VOL.67 発行者 鈴木英夫 編集：広報部

## 来週日曜日（15日）は西宮国際交流デーへ行こう！

1月号でお知らせしましたように、西宮国際交流デーが来週日曜日（2月15日）に開催されます。西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会は、今年もバザーに参加します。会員の皆様もぜひ多数ご参加いただきますようお願いいたします。会場に来られた際には、ぜひ5階の交流市民の会コーナーにお立ち寄りください。

今年は、ジュースやワイン片手に丸テーブルを囲んで雑談していただけるようなオープンカフェコーナーを設けております。



### ☆販売品☆

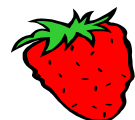
\*ロット・エ・ガロンヌ製ドライフルーツ（450円～600円）

種抜きプルーン、あんず、レーズン



\*タイ製ドライフルーツ（250円～350円）

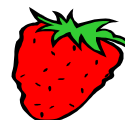
パイナップル、ストロベリー、バナナ



\*フランス製ワイン（90cc：200円）

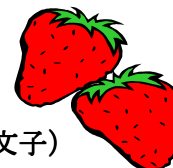
\*フランス製ジュース（200円～250円）

\*n l e g特製ベレー帽（1,500円）



### ☆絵画部の作品の展示販売☆

（出展予定者：越智 強、武居 精、岡田順子、足立洋子、石丸文子）



## 国際交流デーのバザー協力員募集！

2月15日の国際交流デーのバザーで出品物の販売をしたり、オープンカフェで飲物をお出しする協力員を募っております。

ご協力いただける会員さんは、至急、4ページ末尾記載の事務局宛にメールまたはFAXでご連絡いただきますよう、お願いいたします。

時間：午前10時から午後4時までの間で、

ご都合のつく時間帯（短時間でもOKです）。

場所：フレンテ5階 交流市民の会コーナー



## 第12回アジャンスケツチ旅行会作品展

～2月17日までに出品申込を～

春期恒例の掲題作品展の会期が4月14日～19日と決まりました。会場は、いつものとおり、「西宮市立北口ギャラリー第3展示室」を予約しました。



昨年の第11回展は、絵画16名、写真3名、計19名の参加で、それぞれご自慢の力作が揃い、各界から沢山の嬉しい賛辞をいただくことが出来ました。

今年は、交流市民の会創立10周年に当たる記念すべき年です。レギュラーメンバーだけでなく、新しい顔ぶれのご参加を歓迎いたしますので、皆さま、今から腕によりをかけて準備をお進めください。(左の写真は昨年の作品展)

- 会期 2009年4月14日(火)～4月19日(日)
- 会場 西宮市立北口ギャラリー第3展示室(アクタ東館6階)
- 作品テーマ ロット・エ・ガロンヌ県及びアジャン市にちなんだ絵画と写真をメインとするが、それ以外の作品でも構いません。
- 出品点数 絵画なら一人当たり10号前後で2点程度。  
(壁面3面の総延長スペースが約35mですので、例えば参加者が20名とした場合、一人当たりの持分は約1.75mとなります。)
- 出品申込 諸準備の都合上、2月17日(火)までに、西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会(FAX:0798-32-8673)宛FAXでご連絡ください。
- 参加費 約5,000円(昨年と同額。会場費、案内状印刷、郵送費等に充当。)
- 問い合わせ 越智 強(TEL&FAX:0798-64-7931)まで

## Galette des Rois ガレット・デ・ロワ



パイにアーモンドクリームが入ったパイ菓子で、1月6日(キリスト教のエピファニー(Epiphanie, 公現節)に切り分けて食べ、中にフェーブ(そら豆の意)と呼ばれる陶製の小さな人形が入っていた人は紙で作った王冠を被り、祝福を受け、その幸運は1年間継続すると言われます。

フランス人はこれを食べないと一年が始まらないというほどの深く根付いたフランスの伝統行事です。

今年は、その伝統に因んだちょっと面白いニュースが新年の仏フィガロ紙で取り上げられました。

ノルマンディー地方フレヌビユ(Fréneville)に住む25歳のパン職人、ジュリアン・ヴィトルベール(Julien Vitrebert)さんは、なんと18金のミニ金塊入りガレットを販売。「伝統菓子ガレットの販売促進を狙った」という彼の奇特定のビジネス戦略は瞬く間に全フランス、全世界で話題となりました。

この金塊にかかった費用は全部で800ユーロ。金塊入りガレットは2つのみ。「お客様には宝探しのつもりで買いに来て欲しい」というヴィトルベールさんは、「でも、どれか金塊入りか知っているのは僕だけ。えこ最良のないように、妻のグェンドリーヌにも秘密は教えませんよ。」(松浦 記)



Bonjour la France! 2009年の企画第2回目です。

皆さん、ふるってご参加下さい。ゲストは、現在フランス語教師としてご活躍されている Emeline Touratier (エムリーヌ・トゥラティエ) さんです。フランス、シャンパーニュ地方出身の笑顔が素敵な女性です。テーマは、ご出身に因んで「シャンパーニュ地方の発見ーシャンパンを取り巻く歴史と文化」。ワインと比べて馴染み薄いですが、フランスでは、人生の中の節目やお祝い事、ロマンティックな雰囲気演出には欠かせない飲み物として愛されています。また、高級感の高いシャンパンは、ワイン同様、フランスの代表的な特産物として世界中で認知されています。知られざるシャンパンの魅力とその生産拠点を地元の人にご紹介いただく、大変貴重な機会です。

フランス語での講演ですので、ブラッシュアップするいいチャンスですよ♪



みなさん、こんにちは！フランス、シャンパーニュ地方の Troyes (トロワ) から来ましたエムリーヌです。登山家の父と経済学の先生の母の影響で、子供の頃から国際的に活躍するのが夢でした。フランスの高校を出た後、アメリカ・スコットランド・ドイツの大学へ留学し、国際経済を専攻し、ビジネス・コンサルタントとしてIBMアイルランド支社に勤務しました。

その頃、日本でフランス語教師を募っていたのを偶然知り、縁があって大阪でフランス語教師になりました。日本在住歴はまだ浅いですが、フランス語を教える傍ら、日本語の勉強も頑張っています。今回は、私が生まれ育ったシャンパーニュ地方の素晴らしいところを皆さんにお話したり、写真を見せたいと思います。初心者の方の皆さんにも楽しんでもらえるように、わかりやすくゆっくり話しますので安心して下さいね。よろしくお祈りします。

**開催日:** 2月21日(土)

**時間:** 午後1時 ~ 午後2時30分

**場所:** フレンテ 4F 国際交流協会特別会議室

**会費:** 会員 500円 非会員 800円 (会員の紹介をうけた方に限りです)

※ 当日、お支払いください

講演はフランス語がメインですが、希望者には日本語での資料をお配りします。質疑応答は仏・日・英語のいずれも歓迎します。定員15名

**【参加申込・問合せ】** NLEG フランス語部まで、できるだけメールで:

[bonjourlafrance@hotmail.co.jp](mailto:bonjourlafrance@hotmail.co.jp) まで

(非会員の方は、電話番号・紹介者の氏名もお願いします)

**【しめきり】** 2月20日





## フランス便り



### *A la chasse!*

フランス・ヨンヌ県、パリから車で南東に2時間半ほどの人口300人の小さな村で年末年始を家族と過ごしました。都会と比べて不便な面もありますが、農業国フランスの姿を目の当たりにでき、空気も料理が美味しいのは、やはり *campagne* (田舎) の醍醐味。さらに、ヨンヌ県があるブルゴーニュ地方はフランスワインの生産の中心地。日照時間の長いボルドー産はタンニンが多く、しっかりしたボディなのに比べ、色が鮮やかで葡萄の優雅な風味が残るのがブルゴーニュワインの特徴。それにぴったりの冬のフランス料理と言えば *gibier* (ジビエ) を使った様々なオープン料理です。 *gibier* とは *chasse* (シヤス、狩り) で獲れた野生の動物(イノシシやシカ、鳥類など)の総称。 *chasse* はフランスの田舎では大変盛んで、越冬に備えて動物たちが脂肪を蓄えているこの時期がハイ・シーズンです。環境保護や事故防止の観点から、猟の範囲や時期は厳正に行政管理され、狩猟免許、防護服着用の義務付けもあります。 *chasse* は通常数人が1グループとなつて行われ、嗅覚が非常に敏感な野生動物に対して風下・風上に注意しながら人員を配置し、動物の足跡や通り道を辿りつつ、ハンティング用の犬を連れて早朝から開始します。獲物が見つかり、ホルンの警笛で仲間知らせ、犬に追いかけて仕留めます。お昼前に終了し、ワインと *charcuterie* (ドライソーセージなどの加工肉) で一杯やりながら、ランチの時間まで今日の成果を話します。基本的に男性ばかりで「男の社交場」という雰囲気ですが、義兄について行ってこの早朝の森の散歩をするのが、ここ数年来の私の習慣です。

(松浦 記)



### 編集後記

先月号に引き続き、今回も新広報部員による編集となりました。2月は一年の中でも最も日数が少なく、あっという間に過ぎてしまう感がありますが、NLEGの行事は盛り沢山で、交流促進の面で非常に良いスタートを象徴しているのではないのでしょうか。

僭越ながら、今月号は特別に「フランス便り」のコラム枠を設けることとなり、記事の執筆と写真の提供をさせていただきます。拙筆ではございますが、フランスのごく日常的な田舎生活の一面や田園風景の美しさを感じ取ってもらえれば幸いです。

(松浦靖子)

事務局 : 〒662-0911 西宮市池田町11-1 フレンテ西宮4階 秘書国際課内

Tel: 0798-35-3468 Fax: 0798-32-8673

Home Page: <http://nleg.net> E-mail: [info@nleg.net](mailto:info@nleg.net)